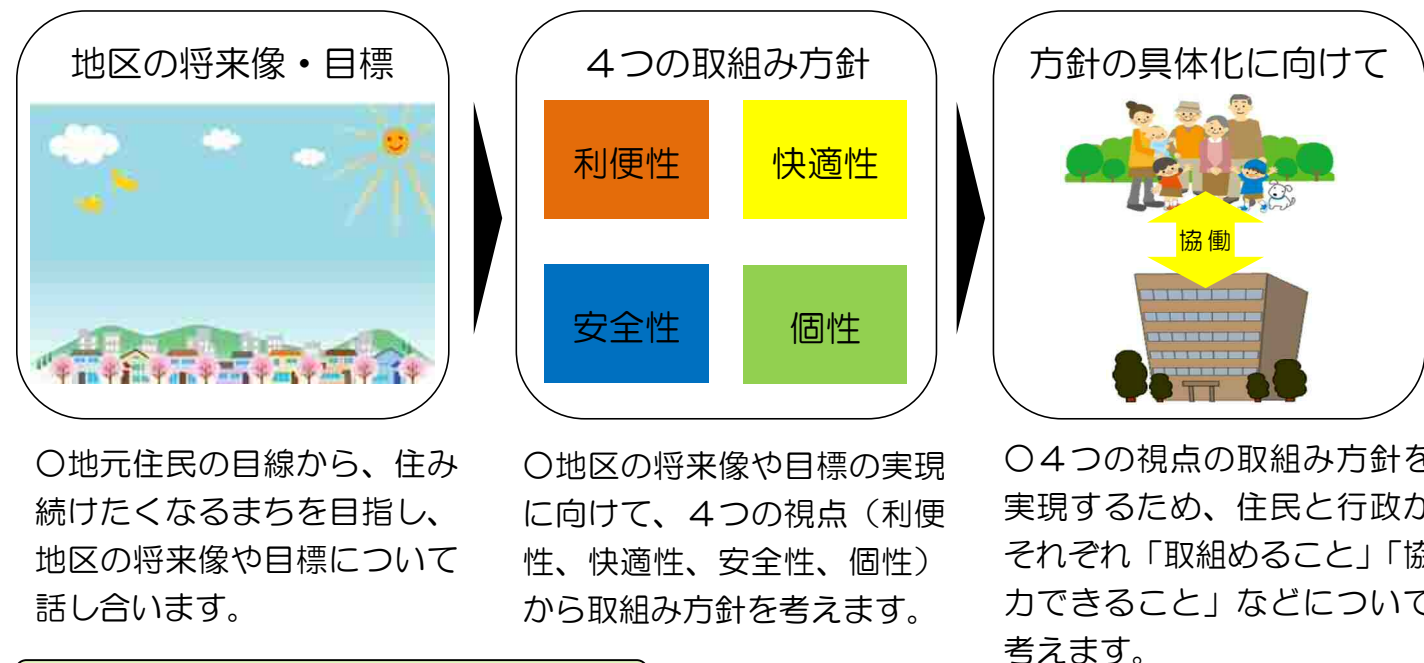


第2回大門地区まちづくりワークショップを開催します！！

【日時】平成28年2月14日（日）18:00～20:00（予定） ※17:30受付開始

【会場】大門中自治会館（緑区大門2998番地）

【内容】第2回ワークショップでは、第1回でのご意見を踏まえ、次のことについて話し合います。



第3回ワークショップ開催概要（予定）

【日時】平成28年3月13日（日）18:00～20:00（予定） ※17:30受付開始

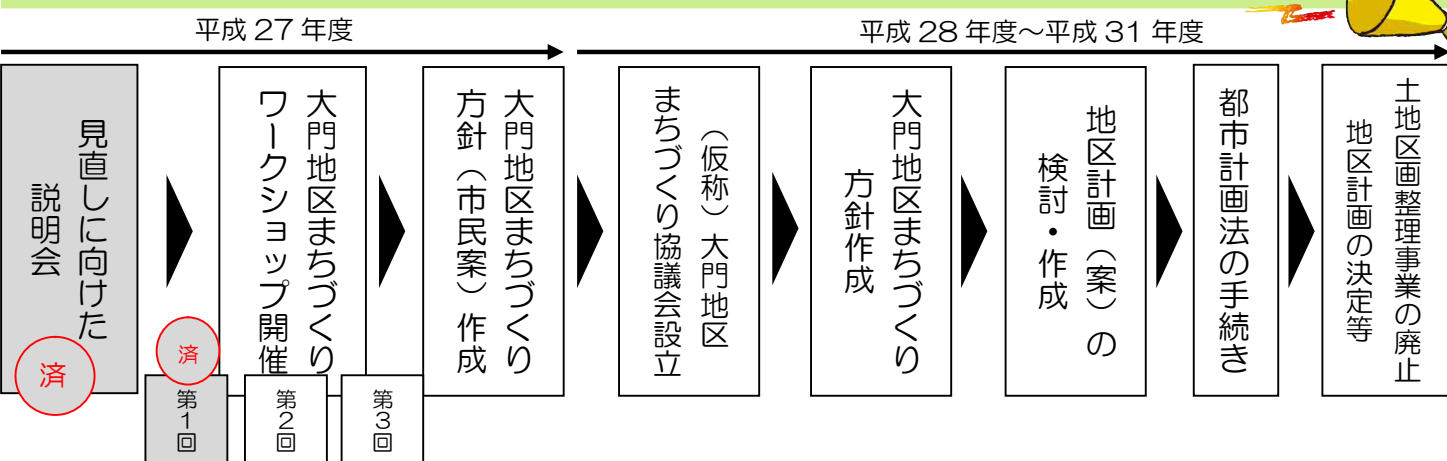
【会場】大門中自治会館（緑区大門2998番地）

【内容】○第2回ワークショップで出された将来像や取組み方針の整理

- 大門地区まちづくり方針（市民案）の取りまとめ
- 今後の進め方

・ワークショップメンバーの方は、ご参加よろしくお願いします。
・ワークショップメンバーでない方でも、当日の見学はOKです。

今後の取組みスケジュール（予定）



【問い合わせ先】さいたま市 都市局 まちづくり推進部 まちづくり総務課 支援係

住所：〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号（本庁舎8階）

Tel:048-829-1444/Fax:048-829-1976 e-mail:machidukuri-somu@city.saitama.lg.jp

市ホームページもご覧ください！

大門地区 検索



大門地区まちづくりだより

創刊号



創刊にあたって



よろしく
お願いします。

○大門地区は土地区画整理事業を行う区域として昭和45年に都市計画に位置づけました。しかし事業化に至らず長期未着手地区となっています。今後、社会経済情勢の変化に伴う人口減少や少子高齢化が見込まれ、事業の必要性は大きく低下しています。また、民間開発等による宅地供給や個別事業による都市基盤整備が進んだ結果、地区内の人口や世帯数は増加し、合意形成が困難であると考えられ、事業の実現性も大きく低下しています。

○そのため市では、今後のまちづくり方針の策定及び土地区画整理事業の都市計画廃止を含めた都市計画の見直しに取り組んでいます。昨年11月19日、23日には住民説明会を全3回開催し、延べ277名のご参加をいただき、今後の見直しの進め方などについて、ご説明したところです。

○また、大門地区まちづくり方針（市民案）の作成に向けては、住民の皆さまによる意見交換・情報共有を目的とした、「大門地区まちづくりワークショップ」を1月から開催しています。

○地区の皆さまには、この「大門地区まちづくりだより」を活用して、大門地区の取組み状況を広くお知らせしながら、出来るだけ分かりやすく、新しい情報を発信していきます。

大門地区まちづくりワークショップがスタートしました！！

○見直しの取組みの第一歩として、ワークショップを開催しました。このワークショップでは、地区の現状や課題、まちの将来像などについて、住民の皆さま同士で意見交換・情報共有を図り、大門地区まちづくり方針（市民案）の作成を目指します。

○今回、ワークショップの参加メンバーを募集したところ26名の方々にご応募いただき、第1回のワークショップには24名の方々のご参加をいただきました。

第1回開催結果概要

日時：平成28年1月16日（土）
18:00～20:20

会場：大門中自治会館

出席者：24名

話し合いの内容（テーマ）

○まちの良い点・悪い点、課題、まちづくりのアイデア等について



ワークショップの雰囲気



話し合いの様子



意見発表の様子

第1回大門地区まちづくりワークショップの主なご意見をご紹介します

ワークショップでは、参加者の住んでいる場所ごと（3班）に分かれ、「利便性」「快適性」「安全性」「個性」といった視点から、まちの「良いところ、活かすところ」「悪いところ、改善したいところ」「まちの将来像や取り組みのアイデア」について、話し合いを行いました。

話し合いの視点

利便性

・日常の買い物や、通勤通学、通院、子育てなど、普段の暮らしが便利かどうか、どうすればもっと便利になるか。

快適性

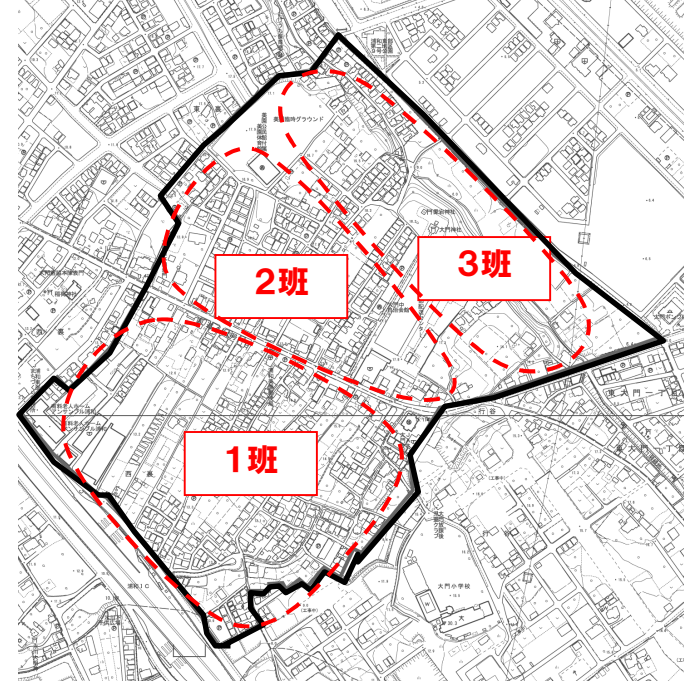
・街並み、身近なみどりなど、住まいを取り巻く環境が快適かどうか、どうすればもっと快適になるか。

安全性

・防災や防犯、交通安全などの面で、安心して暮らせるまちかどうか、どうすれば、もっと安心できるか。

個性

・大門地区の特長はなにか。どうすれば、まちの特長を活かすことができるか、もっと良いまち、個性的なまちにできるか。



2班

○幅員が狭く、交通量もあるので危険

○イオンモール浦和美園ができて買い物が便利になった

○一時避難場所であり、球技ができる数少ない場所

○地区内の商店が少なくなった。今後、高齢化で買い物がしづらくなるかもしれない

○大門神社、旧美園中学校跡地は、住環境を良くする資源

○大門中野田線整備により、旧美園中学校跡地や、大門神社参道が分断されてしまう

○大門中野田線は、旧美園中学校跡地や参道に配慮して整備（地下が理想）

○夜暗い

○大門神社は地区の大切な資源

○地域で唯一のまとまった緑地

○緑が少なくなってきている

○いつまでもお祭りなど変わりなくできると良い

○道路が迷路のように入り組んでいる

○道路が狭く、交差点の見通しが悪い

○安全な道路、通学路の確保

○いくつかの通りは、道路幅員を6m以上にする

○国道463号まで抜けられる道路があると良い

○大門中野田線整備の早期開通（広い歩道整備、国道463号の交通量を減らす）

○住民の安全面や騒音問題が不安だ

○沿道の住環境への影響に配慮した整備が必要

○国道463号南側に公園がない

○子どもが道路で自転車やスケボーを練習している

○国道463号南側に公園がない

○子どもが道路で自転車やスケボーを練習している

○住民同士のコミュニティが良い

○下水道の整備が遅れている

○歩道が狭く、歩行者と自転車のすれ違いができないなど、危ない

○バス路線があるが、本数が減って、まだまだ不便

1班

○旧美園中学校跡地を公共の目的のために使用する

○大門神社、大門宿など、歴史や文化を感じる

○大門神社や大門宿を取り入れたまちづくりを検討する

○国道463号へのアクセスが悪い

○国道463号南側に公園がない

○地区に公園やオープンスペースがほしい

○街灯がなく、暗い道

○通学路なのに車が多く危険

○下水道が整備されていない

○坂道なのに道が狭く危険

○大門中野田線整備によって、住宅地内を抜け道として使う車を減らす

○国道463号の歩道が狭い

○国道463号で街が分断されていると感じる

○雨が降ると浸水する

○風俗産業がなく、環境がいい

○緑も多く、特に夜は静かで落ち着いた住環境

○今後も静かな環境を保ちたい（風俗産業などは入れたくない）

○間宮大門線整備に伴い、通行止めになってしまった

○間宮大門線へ接続する道路整備を行い、アクセスを良くしたい

3班

○裏道として利用されており危険

○水路を渡る橋が狭く、交差点も危険

○隣接地区の道路にガードレールがあり歩行者も通れない

○旧美園中学校のグラウンドの北側は高低差が3~4mあり危険

○旧美園中学校跡地のグラウンドは、大門中野田線の整備の代替地や公園などとして、まちづくりに活用することが必要

○生活道路の舗装や排水が悪い

○この地区には幹線道路がない

○大門中野田線の早期整備が必要

○大門神社の存在や境内のまとまりのある緑地、斜面緑地が良い

○がけ崩れが心配

○斜面緑地の保全とがけ崩れ防止の対策が必要

○道路整備がされていない

○大門中野田線整備後、沿道にパチンコ店や高い建物が建つことなどが心配

○周辺に住環境に配慮していくことが必要

○地域の生活を支えている国道463号のバス路線の存在

○学生やお年寄りの日常的な利用のためにも充実が必要

○国道463号の排水が悪い

○下水道整備が必要

○緑豊かな環境とゆとりある低層の住宅地を守っていくことが必要

○狭い道路や曲がりづらい交差点、行き止まりが多い

○火災発生時に消防活動が円滑にできるかどうか心配

○幅員の狭い道路や行き止まり道路の対策が必要

○円滑な消防活動ができるような道路の対策が必要

凡例 「良いところ、活かすところ」 「悪いところ、改善したいところ」 「まちの将来像や取り組みのアイデア」